

小児科学

責任者・コーディネーター	小児科学講座 小山 耕太郎 教授		
担当講座・学科（分野）	小児科学講座		
担当教員	小山 耕太郎 教授、石川 健 講師、高橋 信 講師、赤坂 真奈美 講師、平井 大士 特任講師、外館 玄一郎 助教、荒谷 菜海 助教、松本 敦 助教、和田 泰格 助教、塩畑 健 助教(任期付)、林 祐子 非常勤講師		
対象学年	3	区分・時間数	講義 14コマ 21.0時間
期間	後期		実習 0コマ 0.0時間

・学習方針（講義概要等）

小児科学は、成長と発達の過程にある小児を対象として、その身体と心の問題を扱うものである。従って、その領域はきわめて広く、胎児期、新生児期から思春期までのすべての医学領域の知識が求められる。

・教育成果（アウトカム）

乳幼児期から思春期にわたる様々な疾患について、概念と病歴、診察所見、検査所見からなる診断過程、治療法を述べることができるようになる。あわせて、社会における日本の小児医療の特徴と問題点を述べるようになる。

（ディプロマ・ポリシー： 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	小児の診察法の要点を説明できる。
2	病歴から問題点を明確化し、診察の要点を説明できる。
3	病歴と診察所見から鑑別診断を挙げられる。
4	鑑別診断に必要な検査計画を立てられる。
5	病歴と診察所見、検査所見から、適切なプロブレムリストを立てられる。
6	与えられた症例に関して、診断ができる。
7	与えられた症例に関して、基本的治療計画を立てられる。
8	診断に至る思考過程を論理的に説明できる。

・講義場所

講義： 矢巾キャンパス西1-0講義室

・ 講義日程

区分	月日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容	到達目標 番号	コアカリ
講義	11/15(木)	3	小児科学講座	松本 敦 助教	新生児疾患 ・呼吸窮迫 ・黄疸	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	D-6-1)①、 E-7-1)⑧、 E-7-1)⑦
講義	11/15(木)	4	小児科学講座	松本 敦 助教	先天異常 ・light-for-dates児、特異的 顔貌	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	E-7-1)⑨、 E-7-1)⑩、 E-7-1)②
講義	11/22(木)	3	小児科学講座	小山 耕太郎 教授	小児の診察法 ・小児の系統的診察法 ・小児期の呼吸数、脈拍 数、血圧	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	E-7-1)③、 E-7-2)①、 E-7-2)②、 E-7-3)⑦、 E-7-3)⑥
講義	11/22(木)	4	小児科学講座	和田 泰格 助教	内分泌・代謝疾患 ・低身長・意識障害・マス スクリーニングの異常	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	D-12-3)-(1)①、 E-7-1)⑥、 D-12-4)-(5)①
講義	11/29(木)	3	小児科学講座	平井 大士 特任講師	アレルギー・免疫疾患 ・易感染性 ・呼吸困難	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	E-4-3)-(6)①、 E-4-3)-(6)②、 E-4-3)-(6)③、 D-6-4)-(3)③、 E-4-3)-(7)①
講義	11/29(木)	4	小児科学講座	林 祐子 非常勤講師	膠原病等 ・発熱、関節痛 ・発熱、発疹	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	E-4-3)-(3)①、 E-4-3)-(4)②、 E-4-3)-(4)④、 E-4-3)-(5)①、 E-4-3)-(5)③
講義	12/6(木)	3	小児科学講座	外館 玄一朗 助教	感染症 ・発熱、嘔声 ・頸部腫瘍、発熱、咽頭痛	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	E-2-4)-(1)②、 E-2-4)-(1)③、 E-2-4)-(1)⑤、 E-2-4)-(1)④、 E-2-4)-(1)⑧、 E-2-2)⑦、 D-6-4)-(2)⑥
講義	12/6(木)	4	小児科学講座	高橋 信 講師	循環器疾患 ・酸素飽和度異常 ・心雑音	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	D-5-4)-(6)①、 D-6-1)②
講義	12/13(木)	3	小児科学講座	塩畑 健 助教(任期付)	消化器疾患 ・嘔吐、血便 ・発熱、腹痛	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	D-7-3)-(2)③、 D-7-3)-(2)⑤、 D-7-4)-(3)①、 D-7-4)-(3)⑩、 D-7-4)-(3)⑨、 D-7-4)-(2)⑧、 D-7-4)-(4)④
講義	12/13(木)	4	小児科学講座	平井 大士 特任講師	血液・腫瘍性疾患 ・倦怠感 ・腰痛、疲労感	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	D-1-4)-(4)①、 D-1-4)-(4)⑥、 D-1-4)-(1)①
講義	12/20(木)	3	小児科学講座	石川 健 講師	腎疾患 ・発熱、浮腫 ・浮腫	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	D-8-1)①、 D-8-4)-(2)⑤、 D-8-4)-(7)①
講義	12/20(木)	4	小児科学講座	赤坂 真奈美 講師	神経・筋疾患 ・発熱、けいれん ・けいれん	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	F-1-8)②、 D-2-4)-(3)①、 D-2-3)-(4)②、 D-2-4)-(7)①

講義	12/27(木)	3	小児科学講座	荒谷 菜海 助教	精神・心身医学的疾患 ・言葉の遅れ ・るいそう	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	E-7-2)②、 E-7-3)①、 E-7-3)⑤、 E-7-3)⑧
講義	12/27(木)	4	小児科学講座	石川 健 講師	救急疾患 ・咳 ・けいれん	1、2、 3、4、 5、6、 7、8	C-4-4)③、 F-2-3)⑭、 F-2-9)-(2)②、 D-7-4)-(3)①

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
推薦図書	標準小児科学 8版	内山 聖 監修	医学書院	2013
参考書	Nelson Textbook of Pediatrics, 20th ed.	Kliegman RM, et al.	Elsevier	2016

・成績評価方法

<p>総括評価：試験100%により評価する。 形成的評価：毎回小テストを行い到達度を評価する。</p>
--

・特記事項・その他

診察法	1回	小児の診察法、小児期の呼吸数、脈拍数、血圧の基準値
新生児疾患	1回	新生児の分類・生理・蘇生法・管理法、成熟度評価法、呼吸窮迫の鑑別、低出生体重児、マイクロバブルテスト
先天異常	1回	単一遺伝子病の種類と特徴、染色体異常症、片親性ダイソミー、奇形症候群、light-for-dates児の分類と合併症
内分泌・代謝疾患	1回	低身長、内分泌疾患の症候と鑑別、意識障害の鑑別、マスキング、先天代謝異常症の症候と鑑別、性分化・成熟異常
アレルギー・免疫疾患	1回	生体防御機構、免疫系の発達分化、免疫学的検査、免疫疾患、アレルギー反応の分類、アレルギー疾患の診断と治療
膠原病等	1回	膠原病と類縁疾患、副腎皮質ステロイド薬・免疫抑制薬の副作用
感染症	1回	発疹性疾患の鑑別と合併症、感染性疾患、予防接種、学校伝染病、リンパ節腫脹、呼吸器疾患、呼吸困難の鑑別、酸素・人工換気の適応
循環器疾患	1回	動脈管依存性心疾患の分類と鑑別、心疾患の症候と鑑別、心不全の診断・治療、小児心電図の判読、不整脈
消化器疾患	1回	消化器疾患の症候と鑑別、緊急の診断・治療が必要な消化器疾患
血液・腫瘍性疾患	1回	血液疾患の症候と鑑別、貧血の鑑別、白血病・腫瘍性疾患の診断・治療
腎疾患	1回	腎機能検査、腎疾患の症候と鑑別
神経・筋疾患	1回	母子感染、年齢による細菌感染症の特徴、神経疾患の症候と鑑別、けいれんの鑑別と治療
精神・心身医学的疾患	1回	小児の成長・発達・栄養の評価と異常を来す疾患、健診の月齢別重点項目、言語発達遅滞の鑑別、発達障がい、心身症
救急疾患	1回	小児の救急疾患、特に誤嚥、誤飲、薬物中毒、溺水、熱傷、熱中症、虐待の発生状況と治療方針、予防

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書、講義室、PC、シュミレータ

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	症例・スライド作成